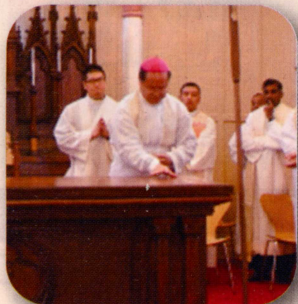


式典の様様



聖堂が完成しました。

この度、ザビエル渡来400年を記念して建てました鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂が宗像の地に完成しました。大変うれしいことです。解体して16年半、宗像に保存部材を運んで10年半、建て始めて6年半かかりました。

聖堂はみんなのもの、頑張らないけどあきらめない、建設過程を大切に歩いてきました。完成まで辿りつくには実に多くの方々のお力がありました。

1977年に鹿児島に結成した「ザビエル聖堂を文化財として再生させる会」は解体時に屋根瓦1万1,000枚を降ろし、床材を外し、漆喰を落とす等、大変な仕事をしました。この時以来2013年の聖堂完成まで関わって下さいました。

2003年4月に宗像の地に運んで以来「福岡

みなさんありがとうございます。

県建築士会宗像支部」と共に歩み、確認申請の手続き等の協力を得ました。聖堂と地域を結ぶ「すみれ会」は掃除・炊事等の裏方的役割をして下さいました。NPO法人文化財保存工学研究室の理事の方々には毎日こつこつと仕事をしていただき、お蔭で見事に復元が出来ました。延べ5,000人近い方々の労働奉仕も、ご寄付をして下さいました方々も忘れることが出来ません。

何故すばらしい姿に再生できたかといえば、それは皆さまの熱い思いの結果だと実感しています。今、聖堂はやっと誕生しました。これからの成長に今まで注いで下さった熱い思いで見守って下さい。お願い致します。

NPO法人文化財保存工学研究室
代表 土田 充義



※写真提供/宮田 恵介氏